

検 定 意 見 書

4 枚中 1 枚目

受理番号 31-42		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 1	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	15	3 - 4	自然数aをいくつかの自然数の積の形に表すとき、その1つ1つの自然数をaの因数といいます。 ほか3～5行横の囲みの「因数」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)				
2	33	7 - 8	右の数直線	生徒にとって理解し難い表現である。 (右にあるどちらの数直線を指しているのか分からない。)	3-(3)				
3	61	表	「学びにプラス 琵琶湖の水位の変化」に示された表の8月の最高水位	不正確である。	3-(1)				
4	64	図	「世界の各都市の時差」を表したとしている図及びキャプション	生徒にとって理解し難い図である。	3-(3)				
5	64	8	(1) 東京とローマ、東京とロサンゼルスの時差は、それぞれ何時間ですか。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どちらを基準として考えているのか分からないので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
6	65	19 - 20	日本との時差を計算すると9-(-7)=16(時間)となります。	生徒にとって理解し難い表現である。 (64ページの図では、アリゾナが含まれる地帯と日本との時差が「-16」と表示されているので、なぜ符号が異なるのか分からない。)	3-(3)				
7	83	側注	17～20行横の側注「発展 2年 同類項」 ほか173ページ10～18行横の側注「発展 高校 円と直線の位置関係」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				
8	98	10	・最初に思い浮かべた数を当てるゲームをつくらう。	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (文字を用いた式で数量の関係を説明する学習)	2-(17)				
9	105	6 - 7	2(2) ア～ウの天秤が釣り合っていることを、～、式で表しなさい。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ア」の図には既に式が示されているので、何をさせたいのか分からない。)	3-(3)				
10	127	18	Q4(5) ある学校の1年1組の出席番号x番の生徒の身長がycm	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どのような設定で考えればよいか分からないので、関数であるかを判断できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-42		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 1	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	136	17 - 18	1のように点をとっていくと、点と点の間は137ページの図アのようにせまくなり	不正確である。 (図アでは原点に点が打たれていないなど、1のようには点が取られていない。)	3-(1)				
12	141	12	線分	組織が適切でない。 (「線分」は167ページからの学習)	2-(12)				
13	146	11	2で調べたように、 y が x に反比例するとき	組織が適切でない。 (比例定数が負の場合も含めた反比例の定義は16行から)	2-(12)				
14	161	グラフ	右下の「長針」,「短針」のグラフ	不正確である。 (「短針」の変化を表す実線)	3-(1)				
15	173	側注	10行横の側注の「発展 高校」	不正確である。	3-(1)				
16	190	1	「麻の葉」	生徒にとって理解し難い表現である。 (何を意味するのか分からない。)	3-(3)				
17	201	11	四角形の midpoint	生徒にとって理解し難い表現である。 (どこのことを指しているのか分からない。)	3-(3)				
18	215	1 - 2	円錐や円柱は、直角三角形、長方形を、それぞれ直線 l のまわりに1回転させてできた立体とみることができます。	生徒にとって理解し難い表現である。 (直線 l が何か分からない。)	3-(3)				
19	224	15 - 16	このことを、円錐の側面積を S として、右の図の文字を使って説明してみましょう。	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (単項式の乗法と除法)	2-(17)				
20	235	7	立体AEFGH, ABFGC, ACGHD	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのような立体なのか分からない。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-42		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 1	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
21	237	1	発展 高校	不正確である。	3-(1)				
22	244	15 - 16	1(3) A中学校とB中学校の生徒の通学時間のデータの傾向を比べるときは、(1)と(2)のどちらの値をもとにすればよいですか。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 ((1), (2)では10分未満だけのデータを調べているが、10分未満のデータから全体の傾向をどう判断すればよいかわからないので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
23	262	図	ヒストグラムの表題に書かれた「km/h」ほか306ページ左18行の「m/s」	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)				
24	269	9 - 20	「課題3 2つのエレベーターの距離はどうなる？」の2	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (一次関数のグラフをかかせる問題)	2-(17)				
25	277	11 - 14	これと同じように正方形を球面上に順にかいていくと、合計6個の正方形をかくことができます。	生徒にとって理解し難い表現である。 (どこに正方形がかけるのか分からない。)	3-(3)				
26	301	表	左の「2節 比例 p.137 プラス・ワン」の(2)の解答の表のx=2に対応するyの値	誤りである。	3-(1)				
27	302	20 左	「力をのばそう」の (1)の解答	不正確である。 (xとyの関係が表されていない。)	3-(1)				
28	302	6 右	「活用・探究」の (2)の解答	誤りである。	3-(1)				
29	304	24 左	「6章をふり返ろう」の (4)の解答	不正確である。 (解答が足りない。)	3-(1)				
30	304	11 右	「力をのばそう」の (2)の解答	誤りである。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 4 枚目

受理番号 31-42		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 1
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
31	305	21 - 24 右	「活用・探究」の解答例	生徒にとって理解し難い解答例である。 (なぜ100km/hを考えるのか分からない。)	3-(3)
32	306	20 左	「課題学習 数学を生かして考えよう」の課題3の2の解答	不正確である。 (設問の解答に答えていないものがある。)	3-(1)
33	307	12 左	「7 文字を使った式」の(19)の解答	不正確である。 (求めるものはxの値)	3-(1)
34	307	36 左	「14 データの活用」の(30) の解答	不正確である。 (単位)	3-(1)
35	308	28 左	「4章 量の変化と比例, 反比例」の29の解答	不正確である。 (解答が足りない。)	3-(1)
36	308	31 左	「4章 量の変化と比例, 反比例」の31(4)の解答	誤りである。	3-(1)
37	309	4 - 5 左	「7章 データの分析」の38(5)の解答	不正確である。 (累積度数の単位)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 31-43	学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 2
------------	--------	-------	-------	------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	62	図	右下の の問題の図における「xg」, 「yg」	生徒にとって理解し難い表現である。 (何を表しているのかわからない。)	3-(3)
2	64	1	発展 高校	不正確である。	3-(1)
3	137	24 - 26	すでに証明されたことがらのうちで, いろいろな性質を証明するときの根拠 としてよく使われるものを定理という 。これまでに証明で使ってきた平行線の	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「平行線の性質」全てが証明されたことがらであ ると誤解するおそれがある。)	3-(3)
			性質なども, 定理である。		
4	174	8	図5の箱ひげ図が似ているA中学校とB 中学校	生徒にとって理解し難い表現である。 (何をもって似ていると考えるのかわからない。)	3-(3)
5	232	33 右	「1節 三角形 たしかめよう」の 3の 解答の始めの「x」	生徒にとって理解し難い表現である。 (他の文字との違いがわからない。)	3-(3)
6	235	17 - 18 左	「力をのばそう」の (3)の解答の「A チームが選ばれない場合は4通り」	誤りである。	3-(1)
7	235	26 - 29 右	「活用・探究」の解答例の「確率を求 めると, ~確率は25/216 ~確率は 27/216 ということになり」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておら ず, また, 発展的な学習内容であることが明示され ていない。 (簡単な場合を超える確率)	2-(17)
8	238	2 左	「7 データの分析」の (3)の解答の 「累積度数 3」	不正確である。 (単位がない。)	3-(1)
9	238	9 右	「3章 1次関数」の14(2)の解答	誤りである。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 31-44		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	38	吹き出し	中右のさくらの吹き出しの「タワーの部分」	生徒にとって理解し難い表現である。 (どこを指すのか分からない。)	3-(3)				
2	55	19 - 25	背理法 発展 高校	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				
3	83	側注	17～18行横の側注「プラス・ワン」 ほか263ページ13行20(6)	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (内容の取扱い(3)で取り扱うとされている二次方程式を超える学習)	2-(17)				
4	86	脚注	「p.84,85 解答」の (1)の解答	不正確である。	3-(1)				
5	105	側注	6～10行横の側注「発展 高校」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				
6	119	図	右下のノンブルの左の図	不正確である。	3-(1)				
7	132 - 133		活用・探究 図形のなかにいろいろな関数を見つけよう	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (一般の二次関数の学習)	2-(17)				
8	143	側注	右中下「プラス・ワン」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どの問題のプラス・ワンなのか分からないので、何をしようか分からないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
9	156	20	中点連結定理は、「三角形と比の定理の逆」の特別な場合である。	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのようにみて特別な場合と考えるのか分からない。)	3-(3)				
10	200	吹き出し	右下のオ～の吹き出しの「AB間の距離」	生徒にとって理解し難い表現である。 (線分間の距離が何を意味するのか分からない。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 31-44		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	246	囲み	10～14行の囲み ほか中右の図1	生徒にとって理解し難い記号である。 (「a」, 「c」がどの長さか分からない。)	3-(3)
12	256	4	イ 整数yを6でわったときの商がx , 余りが4	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (負の整数を割ったときの余りについて説明がないので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
13	278	23 右	「力をのばそう」の (1)の解答	誤りである。	3-(1)
14	282	図	左上「1節 相似な図形」の「プラス・ワン」の解答の図	生徒にとって理解し難い図である。 (「0」が2つある。)	3-(3)
15	282	13 左	「5章をふり返ろう」の (2)の解答	不正確である。	3-(1)
16	283	22 左	「6章をふり返ろう」の (2)の解答	誤りである。	3-(1)
17	285	10 - 18 左	「課題2」の2の解答例	生徒にとって理解し難い解答である。 (どのような置き方をしたときの解答なのか分からない。)	3-(3)
18	285	41 左	「2乗すると負の数になる数!？」の の解答	生徒にとって理解し難い解答である。 (解の公式をどのように使ったのか分からない。)	3-(3)
19	287	16 - 20 左	「4 データの活用」の 22(2)の解答	生徒にとって理解し難い表現である。 (「四分位範囲」は区間を表しているわけではない。)	3-(3)
20	288	18 右	「5章 相似と比」の30(3)の解答	不正確である。 (単位がない。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-45		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 1	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	5	囲み	「発展」の説明における「上の学年で扱う学習内容です。」	不正確である。 (必ずしも、上の学年で扱われるものだけではない。)	3-(1)				
2	7	吹き出し	「工夫してノートを書こう」横の吹き出し「次のようなことを意識してノートを書いてみましょう。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「次のようなこと」がどこを指すのか分からない。)	3-(3)				
3	11	吹き出し	右下の吹き出しにおける「度数分布表に整理して」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「度数分布表」という用語を小学校で学習しているとは限らず、どのように整理して良いか分からないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
4	28	図	問6横の図における「 ± 0 」	生徒にとって理解し難い記号である。 (説明が無い場合、何を表しているか分からない。)	3-(3)				
5	31	吹き出し	20行横の吹き出し「 $-3 < +4 > -1$ と表してはいけないんだね。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (表してはいけない理由が分からない。)	3-(3)				
6	75	11	表面積	組織が適切でない。 (「表面積」の説明は231ページでなされている。)	2-(12)				
7	85	側注	発展中学2年数学メモ 他に、248ページ側注「発展高等学校数学メモ」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				
8	92	8 - 15	数学の広場 薬師算	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (文字を用いた式で数量の関係を説明する学習)	2-(17)				
9	99	18 左段	文字をふくむ項 $4x$ の係数は4である。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (84ページでは $4x$ の4を x の係数としているが、この文では項の係数と誤解するおそれがある。)	3-(3)				
10	102	10 - 14	計算の結果から、同じ文字の累乗どうしの乗法について、どんなことがいえるか考えてみましょう～次のことが成り立ちます。 $x^m \times x^n = x^{m+n}$ 及び、吹き出し「指数に着目すると・・・」	学習指導要領に示す内容と適切な関連がない。	2-(16)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 31-45		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 1	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	112	吹き出し	問5横の吹き出し「(2)のように、 x 以外の文字が方程式に使われることもあるよ。」	不正確である。 ((2)は文字 x を使った方程式である。)	3-(1)				
12	136	21 - 22	問5 134ページのたしかめ1について、 x, y の変域を、不等号を使ってそれぞれ表しなさい。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (たしかめ1の x と y の関係は不連続な関数となるため、 y の変域について解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
13	167	6	2020年に行われた「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」	不正確である。 (まだ行われていない。)	3-(1)				
14	177	写真	上の直線をひいている写真	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (一般的な定規の使い方と異なるため、適切な定規の利用ができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
15	199	18 - 19 右段	おうぎ形の周の長さを1	不正確である。	3-(1)				
16	223	図	問3の展開図における「6cm」	誤りである。	3-(1)				
17	237	26 - 30	「学んだことを活用しよう 容器をどう使えばいいのかな?」における(2)	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (立方体の切断を利用した体積の考察)	2-(17)				
18	244	12 - 14	このことから、Aレポートの所要時間では「平日」と「平日以外の日」でデータの分布が大きく異なり、それらがともにふくまれていたため、前ページの図3で2つの山が現れたと考えることがで	生徒にとって理解し難い表現である。 (階級の幅が3分の図3の特徴を、階級の幅が5分である「平日」と「平日以外の日」のデータから説明していることがよいのか分からない。)	3-(3)				
			きる。						
19	247	14	「13.20以上13.40未満」の階級	不正確である。 (単位がない。)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 31-45		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 1
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
20	274	29 - 30	それぞれの階級の個数のことを度数という。	生徒にとって理解し難い表現である。 (それぞれの階級の何の個数が分からない。)	3-(3)
21	277	10	$1/4=1 - 1/3 + 1/5 - 1/7 + 1/9 - 1/11 + 1/13$	誤りである。	3-(1)
22	287	21 右段	30に対応するp.57のリンクの記号	不正確である。 (57ページにこの記号に対応する問題はない。)	3-(1)
23	297	9 右段	「2立体の表し方」における「7 下の(1)～(4)の図は」	不正確である。 (下には(3), (4)はない。)	3-(1)
24	303	24 - 25 右段	平均の速さは130km/h前後であるが	生徒にとって理解し難い表現である。 (264ページの問題では、球の速さの平均値は135km/hと示されており、なぜ異なるの分からない。)	3-(3)
25	305	15 左段	「2章 正の数, 負の数」の14(4)における解答「34」	組織が適切でない。 (この問題は43ページ5行の問1に続いて行われるが、計算結果の「+」の記号を省略することは、11行の計算の側注に書かれている。)	2-(12)
26	306	15 左段	「3章 文字と式」の30(1)における解答「 $3a + 2b/5$ 」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な1次式の計算を超えた計算)	2-(17)
27	309	3 左段	「8章 データの分析」の「4 平均値・・・28.575kg」	誤りである。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-46		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 2	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	2	15	大きさが等しい角の作図	相互に矛盾している。 (139ページでは「大きさが等しい角を作図する」と記されている。)	3-(1)				
2	5	囲み	「発展」の説明における「上の学年で扱う学習内容です。」	不正確である。 (必ずしも、上の学年で扱われるものだけではない。)	3-(1)				
3	7	吹き出し	「工夫してノートを書こう」横の吹き出し「次のようなことを意識してノートを書いてみましょう。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「次のようなこと」がどこを指すのか分からない。)	3-(3)				
4	26	23	問5(4) $3/4x^2 \div 4/3x^2$	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (分数式の除法)	2-(17)				
5	46	3 - 5	3点シュートをx本、2点シュートをy本決めたとすると、決めたシュートの本数と合計得点については、次の等式で表すことができる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「決めたシュートの本数」も次に表されていると誤解するおそれがある。)	3-(3)				
6	57	吹き出し	下の吹き出し「 $x = 510, y = 250$ は、ともに自然数だから、問題に適しているといえるね。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (18,19行の確かめが「自然数」になることだけの確かめであるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)				
7	62	14	発展高等学校	不正確である。	3-(1)				
8	78	吹き出し	側注の吹き出し「1次関数では変化の割合が一定だから、グラフが直線になるんだね。」 他に、97ページりくさんのノートの例「1次関数 $y = ax + b$ は、変化の割合がaで	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (変化の割合が一定のとき直線になることの説明が無く、直線になることが理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
			一定だからグラフが直線になる」						
9	81	15 - 18	気温がx のときに空気中を伝わる音の速さを分速ymとすると、 $y = 0.6x + 331$ となることが知られています。	不正確である。 (分速)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-46		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 2	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
10	93	2	1200m離れた美術館歩いて	脱字である。	3-(2)				
11	96	15 - 16	バリアフリー法(建築物移動等円滑化基準)	不正確である。	3-(1)				
12	172	図	5行[方法1]における と の図及び「左上の部分をさらに折り返す。」、「右上の部分も折り返す。」	生徒にとって理解し難い図である。 (どのように折り返すのか分からない。)	3-(3)				
13	173	図	13行下の3つの図におけるB,Cより地面に伸びている線他に、問3右図	生徒にとって理解し難い図である。 (何を表しているのか分からない。)	3-(3)				
14	178	1	発展高等学校	不正確である。	3-(1)				
15	199 - 200	1 - 7	数学の広場 期待値 発展高等学校	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				
16	205	図	8行下の図と「上から8番目のデータ」、「上から16番目のデータ」、「上から24番目のデータ」	生徒にとって理解し難い図である。 (図における「」の個数と、8番目、16番目、24番目の対応が分からない。)	3-(3)				
17	209	囲み	6行横の囲み「新国立競技場の写真入る」	生徒にとって理解し難い囲みである。	3-(3)				
18	211	図	例2の図1	不正確である。 (5月の箱ひげ図)	3-(1)				
19	212	図	「静岡・浜松の2月の各日の平均気温」の図	不正確である。 (1970年の箱ひげ図)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-46		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 2	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
20	215	図	「東京・杉並の花粉の飛散量(2月～4月)」の図他に、216ページ中央図	不正確である。	3-(1)				
21	216	囲み	レポート「花粉の飛散量について」の「4. 調べてわかったこと」における2つめの項目「中央値については～あることがわかった。(省略)」	不正確である。	3-(1)				
22	222	21	文字をふくむ項 $4x$ の係数は4	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (4を項の係数と誤解するおそれがある。)	3-(3)				
23	231	吹き出し	上の吹き出し「わり切れないときは四捨五入などして、相対度数の合計は必ず1にするよ。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (合計を1にするために、四捨五入すると誤解するおそれがある。)	3-(3)				
24	239	7 - 8 左段	駅間の距離を正確に縦軸にとって電車が折れ線にならないようにしています。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「電車が折れ線にならない」という意味が分からない。)	3-(3)				
25	240	5	(食塩水の濃度)=(食塩の重さ)/(食塩水の重さ)	不正確である。 (「質量パーセント濃度」を表す式)	3-(1)				
26	241	6 - 7	5科目の勉強時間は、それぞれ10分間、20分間、30分間、40分間、50分間でした。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「10分間、20分間、30分間、40分間、50分間」が上の「国語、社会、数学、理科、英語」にそれぞれ対応すると誤解するおそれがある。)	3-(3)				
27	253	図左段	「1 二等辺三角形とその性質」の1(4)における図の「 62° 」	生徒にとって理解し難い図である。 (どの角が 62° か分からない。)	3-(3)				
28	258	6 右段	「2章 連立方程式」の2(7)、(8)における解答	誤りである。	3-(1)				
29	260	30 - 33 右段	「6章 確率」の6における「対戦するチームの組み合わせは6通り。アの確率は $1/6$ イの確率は、 $3/6=1/2$ 」	不正確である。 (対戦するチームの組合せの数)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 31-47	学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 3
------------	--------	-------	-------	------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘理由	検定基準
	ページ	行			
1	5	8 - 9	「学びのマップ」における「必要に応じて、2年の学習内容をふり返りながら、学習を進めましょう。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「学びのマップ」には、1年2年の学習してきたことがまとめられているが、なぜ2年のみふり返るのか分からない。)	3-(3)
2	5	囲み	「発展」の説明における「上の学年で扱う学習内容です。」	不正確である。 (必ずしも、上の学年で扱われるものだけではない。)	3-(1)
3	7	吹き出し	「工夫してノートを書こう」横の吹き出し「次のようなことを意識してノートを書いてみましょう。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「次のようなこと」がどこを指すのか分からない。)	3-(3)
4	15	囲み	「Q1」における「 $6+7+13+14= \times 7$ 」	生徒にとって理解し難い表現である。 (16ページの3～10行との対応が分からない。)	3-(3)
5	49	囲み	「Q2」における「正方形 アの1辺の長さはどれくらいか、はかってみましょう。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (方眼上の点が1cmごとに並んでおらず、正確に正方形の1辺の長さははかれないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
6	55	11	分数の形 他に、10行横側注「分数の形」、13行「分数の形」、18行「分数の形」	不正確である。	3-(1)
7	72	側注	発展高等学校数学メモ 他に、106ページ側注「発展高等学校数学メモ」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)
8	86 - 87		3平方根の考えによる解き方	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容A(3)の「ア(イ)の「平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。」に照らして、扱いが不適切である。)	2-(1)
9	126	21 - 22	そのほかに、次のような物体が落下する距離と時間の関係についても発見したといわれています。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「 $y=4.9x^2$ 」の「4.9」もガリレオが明らかにしたと誤解するおそれがある。)	3-(3)
10	133	14 - 19	「数学の広場 タイルの枚数」における「4」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (一般の二次関数の考察)	2-(17)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-47		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	158	吹き出し	下の吹き出し「三角形と比の定理を使って、中点連結定理を見いだしたけれど」	生徒にとって理解し難い表現である。 (157ページ中点連結定理の下の吹き出し「三角形と比の定理の逆の特別な場合から、新しい定理を見つけることができたね。」との関連が分からない。)	3-(3)				
12	175 - 176	1 - 11	数学の広場 三角形の重心 発展高等学校	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				
13	178	囲み	「Q1」における1行「右の図のように、円0の周を」	生徒にとって理解し難い表現である。 (右の図で円0が分からない。)	3-(3)				
14	182	側注	問3横の側注「弧の長さが半円の長さになる場合を考える。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「半円の長さ」が何か分からない。)	3-(3)				
15	194 - 196	1 - 15	数学の広場 円のいろいろな性質 発展高等学校	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				
16	214	側注	「1」の側注における「p.206問2」	誤りである。 (206ページに問2はない。)	3-(1)				
17	222	吹き出し	中央下の吹き出し「視聴率は、日本の世帯すべてを対象に調べているのかな？」	生徒にとって理解し難い表現である。 (上の吹き出しの視聴率の説明から、何を疑問としているのか分からない。)	3-(3)				
18	227	側注	「RAND()」の説明における「0以上1以下」	不正確である。	3-(1)				
19	252	2 - 3	2020年に「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が開催されました。 他に、左の吹き出し「東京で開催されたのは、1964年に続いて2回目だよ。」	不正確である。 (まだ開催されていない。)	3-(1)				
20	265	30 左段	「19」下のLINK「p.32 4」	誤りである。 (32ページにこの記号に対応する問題はない。)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 31-47	学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 3
------------	--------	-------	-------	------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	282	2 左段	1章 式の計算……p.44	誤りである。 (44ページに章の問題はない。)	3-(1)
22	283	1 右段	「5章 相似な図形」の3(1)における解答「 $x=4, y=15$ 」	誤りである。	3-(1)
23	283	20 - 27 右段	「5章 相似な図形」の「学んだことを活用しよう」の「[理由](例)」における「面積」	生徒にとって理解し難い表現である。 (どの面積が分からない。)	3-(3)
24	287	3 - 4 左段	「2章 平方根」の15の解答	誤りである。	3-(1)
25	287	19 - 21 左段	「2章 平方根」の22の解答における「誤差の絶対値0.5以下」「誤差の絶対値0.05以下」「誤差の絶対値0.005以下」	不正確である。 (単位がない。)	3-(1)
26	287	26 左段	「2章 平方根」の26の解答における「(2, 8, 12)」	誤りである。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-48		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 1	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	12	15	それより小さい自然数	生徒にとって理解し難い表現である。 (「それ」が何を指すのか分からない。)	3-(3)				
2	60	2 - 6	2020年東京オリンピックの開会式は、 20時から行われました。その生中継は、 海外ではさまざまな時刻に放送され ました。 ほか19～20行(3)	不正確である。 (まだ行われていない。)	3-(1)				
3	60	9 - 10	「時差 [^] *」とあります。 *実際にはサマータイムとよばれる制 度で	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「時差」が「サマータイム」かのように誤解する おそれがある表現である。)	3-(3)				
4	70	10	問11(2) 半径3cmの円の面積	組織が適切でない。 (1次式と数の乗法は、77ページからの学習)	2-(12)				
5	73	図	上の「ひろとさんの考え」の図	相互に矛盾している。 (64ページ右上の「ひろとさんの考え」の図と相互 に矛盾している。)	3-(1)				
6	75	側注	4～5行右の側注の「発展 2年」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていな い。	2-(17)				
7	87	12 - 16	4 活用の問題	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておら ず、また、発展的な学習内容であることが明示され ていない。 (単項式の乗法を含む文字式を利用した説明)	2-(17)				
8	105	図	右下の「兄と弟が歩いたようす」の図	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておら ず、また、発展的な学習内容であることが明示され ていない。 (一次関数のグラフの利用)	2-(17)				
9	180	8	半径が6cm、中心角が45°のおう ぎ形を作図してみましょう。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (166ページの作図の定義からすると6cmという長さ を作図できないので、解答できないという支障を生 ずるおそれがある。)	2-(1)				
10	186	16 - 18	4 活動の問題 (2)	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておら ず、また、発展的な学習内容であることが明示され ていない。 (外心の性質)	2-(17)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-48		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 1
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	192	吹き出し	8～10行横のルーローさんの吹き出し 「問5の立体ではどうなるかな。」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (一般の多面体におけるオイラーの多面体定理の考察)	2-(17)	
12	194	8 - 9	平面上の2点A, Bを通る直線lは、平面Pにふくまれる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (なぜ平面Pに含まれるのか分からない。)	3-(3)	
13	198	19	紙を折る角度を変えても	生徒にとって理解し難い表現である。 (どここの角度のことが分からない。)	3-(3)	
14	215	2	球がちょうど入る円柱	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのような円柱なのか分からない。)	3-(3)	
15	219	2 - 6	1	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (立体の切断を利用した位置関係の考察)	2-(17)	
16	219	21 - 27	4 活用の問題	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (立体の切断を利用した体積の考察)	2-(17)	
17	225	表	右上の「優勝時のチームの記録」の表の「累積度数(人)」の「合計」の欄	生徒にとって理解し難い表である。 (何を書くのか分からない。)	3-(3)	
18	225	5	ヒストグラム	生徒にとって理解し難い表現である。 (小学校で必ずしもこの用語は学習していないので、意味が分からない。)	3-(3)	
19	241	13	・点の変化	生徒にとって理解し難い表現である。 (指摘事項同ページの表にはない。)	3-(3)	
20	241	16 - 17	下の図は、B選手が得点した場所を割合で表しています。A選手について同じように調べてみましょう。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (B選手については「得点した場所」の表なしに割合を求めているため、A選手についての表からどのようにして同じように調べるのか分からないので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 31-49		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 2	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	1	18	1年の確認...244 ほか19行「2年の確認...246」	不正確である。	3-(1)				
2	11	写真	右下写真のキャプションの「等々力第二陸上競技場」	不正確である。 (写真の競技場を示していない。)	3-(1)				
3	11	7 - 8	半径rの円周の長さは2 rと表すことができます。このように、2つ以上の文字を使った式	生徒にとって理解し難い表現である。 (「このように」が何を示しているのか分からない。)	3-(3)				
4	48	14	発展 高校	不正確である。	3-(1)				
5	56	10 - 17	7 活用の問題	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「取り組みA, B, C」にどのように生徒が取り組んだのかがはっきりしないので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
6	58	図	中図における「kw」(3箇所)	表記の基準によっていない。	3-(4)				
7	85	8	八合目の標高は2.8kmです。	不正確である。	3-(1)				
8	91	1 - 13	やってみよう 実際に桜の開花日を予想してみよう 発展 高校	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				
9	150	吹き出し	下の「数学のまど 平行四辺形の利用」の囲みのルーローさんの吹き出し「平行四辺形はどこにあるかな。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (どこに平行四辺形があるのか分からない。)	3-(3)				
10	170	16 - 26	発展 高校 数学のまど 確率論の始まり	発展的な学習内容には該当しない。	2-(15)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 31-50		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	1	22	学びのつながり...276	不正確である。 (表題は前ページ)	3-(1)				
2	11	9		生徒にとって理解し難い問題番号である。 (4行にも が使われている。)	3-(3)				
3	31	8	筆算で答えを求めてみましょう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (どの筆算のことか分からない。)	3-(3)				
4	50	12 - 13	aを整数, bを0でない整数とすると は分数a/bで表すことができる..... と仮定します。	生徒にとって理解し難い表現である。 (大前提が示されていないので, なぜこのように仮定するのか分からない。)	3-(3)				
5	50	18	a/b × a/b は分数なので, 2ではありません。	生徒にとって理解し難い表現である。 (整数も分数に含めることができるので, 理解し難い表現である。)	3-(3)				
6	68	12 - 21	6 活用の問題 (1)	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どのような設定から作図し始めるのか分からないので, 解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
7	92	17 - 20	5 活用の問題 (2), (3)	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず, また, 発展的な学習内容であることが明示されていない。 (場合の数を計算によって求めること)	2-(17)				
8	97	側注	9~11行横の側注「発展 高校」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				
9	114	7 - 9	関数 $y=ax^2$ のaの値をいろいろに変えたグラフをつくり, その放物線になるような関数の式を調べてみましょう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「その放物線」が何を指すのか分からない。)	3-(3)				
10	122	16 - 17	渋滞の最後尾の後方を走る車が速度を落として渋滞に近づくことで, しだいに車間距離が空き	生徒にとって理解し難い表現である。 (どこの車間距離が空くのか分からない。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 31-50	学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 3
------------	--------	-------	-------	------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	140	2	「Q 考えてみよう」の「見上げる角度」及びその下の図の「見上げる角度」	生徒にとって理解し難い表現である。 (どここの角度のことが分からない。)	3-(3)
12	198	側注	22～24行横の側注の「ちょっと確認 p.179」の「点0」	誤りである。	3-(1)
13	208	19 - 21	「塔の先端Aが45°上に見える地点Pと30°上に見える地点Qを見つけ、PQの距離をはかって求めればよい。」及び19～23行横の図	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (P, Qと塔の真下との位置関係が示されていないので、P, Q間の距離を測ったあとどのように求めればよいのか考えられないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
14	218	17	・標本のうち、どのくらいの人が回答しているのか	生徒にとって理解し難い表現である。 (「標本」が何を指しているのか分からない。)	3-(3)
15	264	26 右	「章の問題B p.207」の 6(1)の解答の(理由の例)の「三角形の直角の頂点をDとする」	生徒にとって理解し難い表現である。 (どの三角形のどの部分が分からない。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 31-51	学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 1
------------	--------	-------	-------	------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	30	26	(エ) a-bは正の数になったり, 負の数になったりする。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「～たり, ～たり」をどう考えればよいか分からないので, 「いつでも成り立つ関係」を選ぶ判断ができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
2	64	25 - 26	速さの単位も, 文字式の計算からできている	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのような文字式の計算が分からない。)	3-(3)
3	67	17 - 18	問8の「また, x=7, y=-4のとき, 全体の人数は何人になりますか。」	生徒にとって理解し難い問題である。 (「-4班」とはどんな班なのか分からない。)	3-(3)
4	84	5	木1(3) ykgの重さの米びつから, xgの米を取り出したあとの米びつの重さ	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (設問に出てくる2つの米びつとの関係が分からないので, 解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
5	227	表	中右の代表値の書かれた表の(ウ)の中央値の値	不正確である。	3-(1)
6	234	グラフ	下の「(ア)の出た相対度数」のグラフ	不正確である。 (100回におけるグラフの位置)	3-(1)
7	236	1	ことがら確率	脱字である。	3-(2)
8	238	14	右の表	不正確である。 (右に表はない。)	3-(1)
9	251	7 右	「2章 文字の式(p.241～p.243)」の3(2)の解答の単位	表記の基準によっていない。	3-(4)
10	258	3 - 4 左	「4章 変化と対応(p.142～p.145) 学びをたしかめよう」の家1の解答の2行と3行	生徒が誤解するおそれのある解答である。 (比例するものや反比例するものを選ぶときには, 必ず式も書く必要があるかのように誤解するおそれのある解答である。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-51		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 1	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	266	4 右	「社会見学にいこう(53～56)」の5の解答の「3箱だから、」	誤りである。	3-(1)				
12	267	9 - 13 左	「プログラミングで模様をつくろう(51～52)」の 1の解答例	生徒にとって理解し難い解答例である。 (解答例に示された2つの解答の関係が分からない。)	3-(3)				
13	267	14 左	「プログラミングで模様をつくろう(51～52)」の 2の解答	誤りである。	3-(1)				
14	267	16 左	「プログラミングで模様をつくろう(51～52)」の 4(1)の解答	不正確である。	3-(1)				
15	272	24 左	「4章 変化と対応(19～20)」の 7(2)の解答の「 $1/2 \times 12/p \times p$ 」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (単項式の乗法と除法)	2-(17)				
16	275	吹き出し	中の段の下のつむぎの吹き出しの「ABE, CEF, ADF」	組織が適切でない。 (2章の終了(85ページ)後には少なくとも取り組んでよい問題の解答だが、「」の記号は152ページから)	2-(12)				
17	283	5 左	印	生徒にとって理解し難い表現である。 (「印」が何を意味するのか分からない。)	3-(3)				
18	288	1 左	昼間に雨が降らなかった日	生徒にとって理解し難い表現である。 (「昼間」がどの時間帯のことを意味しているのか分からない。)	3-(3)				
19	297	表	「考えた結果」の表の「震源からの距離」の値 ほか298ページ左14行の「震源からの距離が151kmである気仙沼」 左18～19行の「震源からの距離が	不正確である。 (震央距離と震源からの距離を混同している。)	3-(1)				
			172kmである一関舞川」 右下の地図の震源からの距離						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-52		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 2	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	113	脚注	下の脚注の「補助線」	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)				
2	142	イラスト	「数学ライブラリー ミウラ折り」の中 のイラストのキャプション「宇宙実験 フリー・フライヤ」	不正確である。	3-(1)				
3	175	図	問1の下の箱ひげ図	不正確である。 (単位がない。)	3-(1)				
4	180	13 - 15	気温は高くなっていると思います。～ 最大値が大きくなっているからです。 ほか203ページ右段15～19行「7章 箱 ひげ図とデータの活用 学びを身につ けよう」の木2の解答例	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (単純に最大値のみで判断してよいかのように誤解 するおそれがある。)	3-(3)				
5	193	7 - 9	1の「ある10地点で、気温を測定した ところ、次のような結果になりました」 。3, 0, 1, 4, 4, 6, 12, 8, 6, 9」	不正確である。 (単位がない。)	3-(1)				
6	208	14 右	「社会見学にいこう」の3の解答の「 だから、」	誤りである。	3-(1)				
7	209	2 右	「代表を決めよう」の 1の解答	不正確である。 (単位がない。)	3-(1)				
8	210	2 右	「料金が安いのは？」の 4の解答の5 個目の「・」の「注文する本数が150 枚」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「枚」)	3-(3)				
9	212	9 左	「5章 図形の性質と証明」の 10(2) の解答の「 $DPB = ACB$ ……」	誤りである。	3-(1)				
10	213	9 左	「5章 図形の性質と証明」の 7の解 答の「よって、 $AD \parallel BC$ 」	誤りである。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 31-52		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 2	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	214	吹き出し	右下の「5章 図形の性質と証明」の5の解答のつむぎの吹き出し「AB//DCであるすべての平行四辺形ABCDについて証明できたね」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「平行四辺形ABCD」)	3-(3)				
12	222	2 - 3 左	1の「Aから順に小さくなるように並べかえます。」 ほか左段15行 1(3)の「Aから順に小さくなるように数を並べかえるには」	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのような順序なのか分からない。)	3-(3)				
			223ページ右段2～3行の 2の「Aから順に大きくなるように並べかえます。」						
13	222	図	右段の右の図 及び223ページ右段5～8行 「参考 バブルソート このページで、数を並べかえるときに使った方法を、バブルソートといい	不正確である。 (「バブルソート」の定義)	3-(1)				
			ます。」 並びにその右の図						
14	223	囲み	右段「参考 バブルソート」の囲みの 「泡を意味するバブル (babble)」	誤りである。	3-(1)				
15	227	1	発展 数学B	不正確である。	3-(1)				
16	234	グラフ	2の解答をかくグラフ用紙	不正確である。 (「250」)	3-(1)				
17	234	1 - 2 右	4	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (うちの注文本数についての条件が示されていないため、250本より多く注文した場合どのように料金を考えてよいか分からないので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
18	245	1 - 11 右	8	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どういう条件のもとに同様に確からしいと考えて確率を考えればよいか示されていないので、確率を求めることができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 31-53		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	31	23 - 24	道幅を～計算し	生徒にとって理解し難い表現である。 (道幅は4mと与えられているので、何を計算するのか分からない。)	3-(3)
2	47	脚注	下の脚注の「分数の形」	不正確である。	3-(1)
3	142	脚注	下の脚注「中点連結定理は、「平行線と線分の比」の特別な場合とみることができる。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのようにみて特別な場合と考えるのか分からない。)	3-(3)
4	230	20 左	「学びを身につけよう」の木10の解答	不正確である。	3-(1)
5	234	9 右	「学びをたしかめよう」の家5(2)の解答のyの値	誤りである。	3-(1)
6	246	3 右	「容器をつくろう」の 2の解答の「 $27+ 89$ 」	誤りである。	3-(1)
7	261	囲み	中右の「道に色をぬる手順」の囲みの「注意」全体	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
8	288	吹き出し	左上のつむぎの吹き出し	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
9	299	16 - 19 右	7(2), (3)	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (場合の数を計算によって求めること。)	2-(17)
10	312	脚注	下のノンブルの「3~6」	誤りである。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-54		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 1	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	9	17 - 18	発展マークのついた問題は、その学年の学習指導要領に示されていない内容を扱ったものであり、すべての子どもが一律に学習する必要はありません。	不正確である。 (問題以外にも発展マークがついている。)	3-(1)				
2	18	側注	「!見方・考え方」における「数直線の性質」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「数直線の性質」が何か分からない。)	3-(3)				
3	80	囲み	「どんなことがわかったかな」の「分配法則を使うと、1次の項どうし、数の項どうしをまとめることができます。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (数の項をまとめるのに、どのように分配法則をつかうのか分からない。)	3-(3)				
4	125	4	1元1次方程式	生徒にとって理解し難い用語である。 (未習の用語で、その意味が分からない。)	3-(3)				
5	125	14 - 15	文字を使った式を最初に載せた書籍は、フランスのフランソワ・ヴィエト(1540～1603)が1591年に著した『解析術序論』です。	不正確である。 (どのような文字を使った式が最初に載せられた書籍なのか示されていない。)	3-(1)				
6	137	6	負の数の点	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのような点か分からない。)	3-(3)				
7	169	19 - 21	このとき、点Oを線分AB、PQの midpoint ~ という。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「このとき」とはどのときか分からない。)	3-(3)				
8	176	吹き出し	問3横の吹き出しにおける「たこ形」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「たこ形」の説明は「一人ひとりの子どもが、興味・関心に応じて」活用する「Tea Break」にあるため、「たこ形」がどのような形か理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
9	176	吹き出し	問3横の吹き出し「右の図のように、たこ形を利用して作図できるね。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (何が作図できるのか分からない。)	3-(3)				
10	182	囲み	「どんなことがわかったかな」における「平行な直線」	生徒にとって理解し難い表現である。 (177ページにおける平行な直線の作図では、垂線や垂直二等分線の作図は利用していないため、わかったことに含まれることが分からない。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 31-54		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 1	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	195	2 - 3	1つの方向から光を当てたときにできる影を考えます。 他に、198ページ2, 3行「立体の正面から光を当てたときにできる影です。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのような光を当ててるのか分からない。)	3-(3)				
12	202	吹き出し	8行下の吹き出しにおける「同じ平面上を通る2直線」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「平面上を通る」という意味が分からない。)	3-(3)				
13	204	吹き出し	18行下の吹き出しの「1階, 2階の床やエスカレーターを平面として考えられるかな。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「エスカレーター」をどのように考えれば良いのか分からない。)	3-(3)				
14	225	15 - 17	$V=1/3S1r + 1/3S2r + \dots + 1/3Snr$ $=1/3(S1+S2+\dots+Sn)r$ $=1/3Sr$	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (単項式と多項式の乗法)	2-(17)				
15	229	10 - 21	役立つ数学 オイラーの多面体定理	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (一般の多面体におけるオイラーの多面体定理の考察)	2-(17)				
16	231	11	階級や度数でデータの分布を表している表	組織が適切でない。 (用語「分布」の説明が235ページでなされている。)	2-(12)				
17	260	図	1行下の2番目の図の説明文「メニューから、「挿入」「グラフ」「縦棒」を選択し、グラフの形を選ぶ」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (上の図では「すべてのグラフ」のタブが選択されているが、その操作が示されておらず、グラフの作成方法が分からないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
18	265	13	このグラフ	生徒にとって理解し難い表現である。 (図1, 図2のどちらのグラフが分からない。)	3-(3)				
19	265	13 - 16	このグラフの2000年の値を0として、グラフが2000年と2100年の値を結んだ直線になるとみなしたとき、どのようなことが予想できるでしょうか。	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (1次関数を利用した考察)	2-(17)				
20	266	図	図における「キリバス共和国 最高標高3m」	不正確である。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 1 枚目

受理番号 31-55		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 2	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	9	17 - 18	発展マークのついた問題は、その学年の学習指導要領に示されていない内容を扱ったものであり、すべての子どもが一律に学習する必要はありません。	不正確である。 (問題以外にも発展マークがついている。)	3-(1)				
2	19	7 - 8	$x=1, y=2$ のときの、最初の式の値と結果の式の値を比べる。	生徒が誤解するおそれのある問いである。 (式が正しいことを、数値の代入により示せると誤解するおそれがある。)	3-(3)				
3	38	10 - 15	「役立つ数学 誕生日当て」における「誕生日」	生徒にとって理解し難い表現である。 (誕生日を含めるのか、含めないのか分からない。)	3-(3)				
4	54	1	発展高等学校 他に、67ページ12行、68ページ1行	不正確である。	3-(1)				
5	90	吹き出し	「Q」の上の吹き出し「 $ax+by=c$ のaやbが0だと、x, yのどちらかの項が消えてしまうね。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「aやbが0」と「x, yのどちらかの項が消えてしまう」との対応の仕方が分からない。)	3-(3)				
6	91	10	2元1次方程式を1次関数とみると他に、93ページ10行「2元1次方程式を1次関数とみて」、105ページ7行「2元1次方程式を、1次関数としてみる事ができる。」	不正確である。 (2元1次方程式を1次関数とみることができない場合がある。)	3-(1)				
7	97	17 - 18	したがって、グラフは2点P(3, 6), Q(6, 0)を結ぶ線分PQになる。	不正確である。 (グラフには点P, Qは含まれていない。)	3-(1)				
8	137	11 - 16	四角形の合同条件はあるの？ 発展高等学校	発展的な学習内容には該当しない。	2-(15)				
9	137	15	2組の辺と3つの角がそれぞれ等しい。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (どの辺とどの角であってもよいかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)				
10	174	図	「役立つ数学」における「ワイパーの形」の図	生徒が誤解するおそれのある図である。 (点Bの部分が固定され、ABDが一定で変わらないかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 2 枚目

受理番号 31-55	学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 2
------------	--------	-------	-------	------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	184	14 - 15	問9	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (何が同様に確からしいと考えてよいのか分からず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
12	184	14 - 15	問9	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合を超える確率の考察)	2-(17)
13	194	18 - 19	また、そのことから、箱を変更した方がよいかどうか答えなさい。	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合を超える確率の考察)	2-(17)
14	206	4 - 5	5年間の日ごとの最高気温の平均値をグラフに表すと、次のようになりました。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「5年間の日ごとの最高気温の平均値」は1つの平均値を表す表現と考えられるため、下のグラフとの対応が分からない。)	3-(3)
15	207	1 - 2	メルボルンと東京の5年間の日ごとの最高気温の分布を調べて箱ひげ図をつくると、次のようになりました。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「5年間の日ごとの最高気温の分布」は1つの分布を表す表現と考えられるため、下の図との対応が分からない。)	3-(3)
16	210	図	中央のボールの種類を説明する図における「フォーク」の説明	不正確である。	3-(1)
17	211	17 - 20	確かに、真ん中に箱があるから、ヒストグラムにすると、中央値を通る直線を対称の軸として、左右対称のグラフになると考えてしまいそうです。しかし、実際には、右の2つのヒストグラ	生徒にとって理解し難い表現である。 (右のヒストグラムも左右対称であり、なぜ「しかし」なのか分からない。)	3-(3)
			ムの結果でも、同じ箱ひげ図で表されます。		
18	212	8 - 9	行数がD1の値の半分	生徒にとって理解し難い表現である。 (D1/2の値が8.5であるため、表計算ソフトにおいて8.5行が何か分からない。)	3-(3)
19	212	11	ROUND(D1/2,1)・・・D1の値の半分以上を四捨五入した値を求める。	不正確である。 (どのように四捨五入するのか示されていない。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 3 枚目

受理番号 31-55		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 2	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
20	212	11	ROUND(D1/2,1)	生徒にとって理解し難い表現である。 (表計算ソフトの図における入力されたものに対する説明で、これだけがなぜ入力されたものと異なるのか分からない。)	3-(3)				
21	217	22	上の表から、フェアトレードをすることで、生産者に正当な報酬があることがわかります。	生徒にとって理解し難い表現である。 (上の表から正当な報酬であるかどうか分からない。)	3-(3)				
22	218	4 - 5	これらのグラフを読み取り、世界における日本のフェアトレードに対する状況がどのようなものか、話し合ってみましょう。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (図1の資料が何年のものか分からず、これらのグラフを読みとる際に、関連させて読みとることができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
23	218	表	表2	生徒にとって理解し難い表である。 (両項目の数値の処理の仕方が分からない。)	3-(3)				
24	230 - 231		どちらが有利? 発展高等学校	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				
25	245	7	(4)次の図に、箱ひげ図で表しなさい。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (次の図では値の範囲が不足しているため、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
26	245	8	次の箱ひげ図をヒストグラムに表すと	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (箱ひげ図をもとに、ヒストグラムを作成したと誤解するおそれがある。)	3-(3)				
27	245	図	2における(1)~(3), ア~ウの図	不正確である。 (箱ひげ図とヒストグラムの最大値の対応)	3-(1)				
28	248	10 右段	「基本2(3)」の解答「-3 y 3」	不正確である。	3-(1)				
29	250	1 - 3 左段	「応用3 , 」の解答	誤りである。 (132ページの手順 , に合わない。)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-56		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	9	17 - 18	発展マークのついた問題は、その学年の学習指導要領に示されていない内容を扱ったものであり、すべての子どもが一律に学習する必要はありません。	不正確である。 (問題以外にも発展マークがついている。)	3-(1)				
2	58	18	分母に根号がある分数	生徒にとって理解し難い表現である。 (有理数である分数の分母に根号がある数が、どのような数か分からない。)	3-(3)				
3	99	吹き出し	りすの吹き出し「変化の割合が一定の関数は、グラフが直線になり、一定でない関数のグラフは、直線にはならないね。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (どこで学習したか分からない。)	3-(3)				
4	112	13 - 14	遠方から届いた電波はこの面に当たって反射し、必ず1点に電波が集められます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (どのような角度で届いた電波でも、すべて1点に集められると誤解するおそれがある。)	3-(3)				
5	117	17 - 20	トライ 発展高等学校 他に、193ページ「トライ 発展高等学校」、196ページ「トライ 発展高等学校」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				
6	125	側注	「4」下の「P.114 例2」 他に、「5」下の「P.116 例3」	誤りである。 (該当ページに対応する例はない。)	3-(1)				
7	139	写真	上の写真	生徒にとって理解し難い写真である。 (「方法」における「結び目」が分からない。)	3-(3)				
8	139	3 - 6	2 1の方法 で、つなぐゴムの本数を3本、4本、…と変えると、かける絵の大きさはどのように変わるでしょうか。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (ゴムの本数を増やした場合、絵に合うように動かす結び目を何番目の結び目にするのか分からず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
9	150	5	問9(4) ABC A'B'C'であることを証明しなさい。	生徒にとって理解し難い問題である。 (相似の位置にある2つの図形は140, 141ページから相似であることが分かっているため、何を証明するのか分からない。)	3-(3)				
10	188	11	問9 次の図で、xの大きさを求めなさい。	生徒にとって理解し難い問である。	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-56		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	200	20 - 22	たとえば、右の図では、測定した角度をもとにして、2つの円 O 、 O' をかき、その交点から船の位置 P を知ることができます。	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのようにして、船の位置 P を知ることができるか、分からない。)	3-(3)				
12	216	11	点 P が辺 BC 上を通り 他に、14行「点 P が辺 AB 上を通る」	生徒にとって理解し難い表現である。 (点 P はひもと辺との交点であり、通る意味が分からない。)	3-(3)				
13	228 - 244		8章 標本調査	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容D(1)のイ(イ)の「簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断すること。」に照らして、扱いが不適切である。)	2-(1)				
14	250	6 - 7	次の図2は2016年のエシカル消費への関心度を調べたデータです。このグラフから、日本のエシカル消費に対する意識についてどんなことがいえるでしょうか。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (図2のデータがどこでのものか示されていないため、日本のエシカル消費に対する意識を答えられないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
15	256	3 - 5	右の図のように、長方形 $ABCD$ から正方形 $ABEF$ の部分を取り去った残りの長方形 $ECDF$ は、もとの長方形 $ABCD$ と相似になっています。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (どんな長方形でも正方形を取り去ると、残りの長方形ともとの長方形が相似になると誤解するおそれがある。)	3-(3)				
16	258 - 259		放物線はみな相似？発展 他に、260、261ページ「バランスのとれる場所はどこ？発展」、266、267ページ「高校へのかけ橋発展」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				
17	260 - 261		バランスのとれる場所はどこ？発展 他に、266、267ページ「高校へのかけ橋発展」	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)				
18	271	表	「6」における11行横の表の項目 他に、291ページ右段「6(1)」の表の項目	誤りである。	3-(1)				
19	284	21 左段	「計算力を高めよう1 3(8)」の解答 「a2-81」	誤りである。	3-(1)				
20	286	2 左段	「応用3(5)」の解答「2 3」	誤りである。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 31-56		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	287	25 - 27 左段	「トライP.117」の解答における「平均の速さは10m/sに近づいていく。このことから、1秒後の瞬間の速さは10m/sと考えられる。」	誤りである。 (10m/s)	3-(1)
22	287	5 - 8 右段	「基本2,3」の解答	誤りである。	3-(1)
23	289	15 右段	条件を変えて考えようP.201	相互に矛盾している。 (201ページでの表題と異なる。)	3-(1)
24	289	24 - 27 右段	「条件を変えて考えようP.201」の「3」における解答例「 $A=1/2 a$, $C=1/2 b$ \sim $A+ C=1/2(a+ b)=180^\circ$ 」	誤りである。	3-(1)
25	290	30 左段	「活用3」の解答における「 $c= AF2-FD2 + GF2-FD2$ 」	誤りである。	3-(1)
26	290	34 左段	「釣瓶岳から富士山が撮影できた? P.226」の「2」の解答「約113km」	誤りである。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 31-57		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 1	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	上巻 本全体		本冊及び別冊全体	組織が適切でない。 (別冊について教科書として扱われていない。)	2-(12)				
2	3	14	「ふりかえりの答」のページ数 他に、15行「確認問題・章の問題の答」のページ数	誤りである。	3-(1)				
3	19	6	この橋とトンネルの位置 他に、下の3つの吹き出しにおける「橋の位置」及び「トンネルの位置」	生徒にとって理解し難い表現である。 (位置が何を表しているのか分からない。)	3-(3)				
4	57	10 - 11	練習のときの最高記録の平均値	生徒にとって理解し難い表現である。 (練習のときの最高記録が何を表しているのか分からない。)	3-(3)				
5	73	16 - 17	問5(2)	組織が適切でない。 (1次式と数の乗法は83ページからの学習)	2-(12)				
6	94 - 95		やってみよう 薬師算	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (文字を用いた式で数量の関係を説明する学習)	2-(17)				
7	132	吹き出し	2つの数の値で学校や公園の位置が表されているね。	生徒にとって理解し難い表現である。 (2つの数の値が表しているのは交差点であるため。)	3-(3)				
8	160	8	かなさんの吹き出しの「AとBの間には、」	生徒にとって理解し難い表現である。 (AとBの間がどこを指しているのか分からない。)	3-(3)				
9	184 - 185		三角形の外心，内心	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				
10	185	右上	発展	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 31-57		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 1	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	224	囲み	1. データを表すグラフや表の囲みの下「度数分布を表す表」 他に、231ページ6行まなとさんの吹き出しの「度数分布の表」	生徒にとって理解し難い表現である。 (度数分布が何か分からない。)	3-(3)				
12	225		下の第15表の右上 観光庁ホームページ：「2018年1～3月期」 (http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shouhidoukou.html#cp1)	学習上の参考に供する情報を参照させるウェブページのアドレスは、発行者が管理するものでない。	2-(18)				
13	229	表	10行右の表のA市の中央値「13.8」	生徒にとって理解し難い値である。 (中央値がどうして26番目の値になっているの分からない。)	3-(3)				
14	242	表	例1の表	生徒にとって理解し難い表である。 (累積度数の計の欄と累積相対度数の計の欄の書き方の違いが分からない。)	3-(3)				
15	291	グラフ	左上「データを表すグラフ」の囲みの右上の「A市の平均気温、降水量」のグラフ	生徒にとって理解し難いグラフである。 (降水量の単位)	3-(3)				
16	295	5 左	「1確認問題」の (1)の解答	不正確である。	3-(1)				
17	297	8 右	「2確認問題」の (1),(2)の解答	不正確である。	3-(1)				
18	298	14 右	「2確認問題」の (1)の面積の解答	誤りである。	3-(1)				
19	下巻 8 - 11		不等式の性質はある？	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				
20	9	右上	発展	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 31-57		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 1
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	13	4 - 5	「下の図は、2枚の鏡を60°の角度に合わせた万華鏡をのぞいたものです。」及び下の図	生徒にとって理解し難い図である。 (どのような万華鏡を考えているのか分からない。)	3-(3)
22	14 - 15		探究 課題	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どのような万華鏡をつくるのか分からず、実際に活動ができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
23	14 - 15		探究 課題 及び 38-39ページ ワークシート	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (中学校の図形の移動を超える学習)	2-(17)
24	16 - 19		多面体の規則を見つけよう	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)
25	36 - 37		ワークシート 不等式の性質はある？	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (不等式の性質の学習)	2-(17)
26	40 - 41		ワークシート 多面体の規則を見つけよう	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (一般の多面体におけるオイラーの多面体定理の考察)	2-(17)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-58		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 2	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	上巻 本全体		本冊及び別冊全体	組織が適切でない。 (別冊について教科書として扱われていない。)	2-(12)				
2	14	囲み	右囲みの上 「(3) $2 \times a \times a \times 3 \times b$ 」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (係数の計算が必要なため、文字式の表し方にしたがって書くことができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
3	78	15	次の直線において	生徒にとって理解し難い表現である。 (どの直線を指すのか分からない。)	3-(3)				
4	106	吹き出し	左下のみかさんの吹き出し	生徒にとって理解し難い表現である。 (あと えのとなりどうしの角で、 180° であるものはないため。)	3-(3)				
5	117	表	ひびきさんの右横の表	生徒にとって理解し難い表である。 (表についての説明がなく、理解し難い表である。)	3-(3)				
6	129	12 - 13	あることがらが正しいことを示すには、根拠を明らかにしてすじ道をたてて説明していく必要がある。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (どのような根拠でも良いかのように、誤解するおそれのある表現である。)	3-(3)				
7	150	15 - 16	(1)も(2)もつねに正しいね。	生徒にとって理解し難い表現である。 (元の命題と逆の命題のどちらを指すのか分からない。)	3-(3)				
8	164	23 - 26	問2	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (大前提が示されておらず、逆が正しいか正しくないか解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
9	194	6 - 7	大小2個のさいころの目の出方は全部で36通りあり、	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どのように全部の場合の数を数えたのか分からず、解答が理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
10	194	8 - 10	目の和が5になる場合は (1, 4), (2, 3), (3, 2), (4, 1) の4通りあるから、	生徒にとって理解し難い表現である。 (前後の数字のどちらが大のさいころの目を表しているのか分からない。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 31-58		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 2
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	205	2	ICT(情報通信機器)	不正確である。	3-(1)
12	206	右上	発展	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)
13	234	14	「平行四辺形の性質」の囲みの 「(定義) 2組の対辺はそれぞれ平行である。」	不正確である。 (定義として不正確である。)	3-(1)
14	237	4 左	平行四辺形は イ,カ	組織が適切でない。 (138ページの図の力が平行四辺形でもあることは、 162ページからの学習)	2-(12)
15	237	11 左	1. 9	不正確である。 (単位がない。)	3-(1)
16	240	18 左	(2) 5cm(cm)	生徒にとって理解し難い解答である。 (「(cm)」)	3-(3)
17	240	16 右	3 (3) 10時間後	不正確である。 (「後」)	3-(1)
18	243	7 左		誤りである。 (181ページに問題 はない。)	3-(1)
19	247	3 右	「第6章データの活用」の 「2 , 」	不正確である。 (「 」)	3-(1)
20	下巻 8 - 13		文字が3つの方程式	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 31-58	学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 2
------------	--------	-------	-------	------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	14 -	17	グラフを左右に移動したら	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)
22	28	14	平均値 10.08 中央値 10.15 他に、45ページ4行「平均値 10.08」 、5行「中央値 10.15」	不正確である。 (単位がない。)	3-(1)
23	36 -	37	ワークシート 文字が3つの方程式	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (連立3元1次方程式の学習)	2-(17)
24	38 -	39	ワークシート グラフを左右に移動したら	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (1次関数のグラフのx軸にそった移動の学習)	2-(17)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 1 枚目

受理番号 31-59	学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 3
------------	--------	-------	-------	------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	上巻 本全体		本冊及び別冊全体	組織が適切でない。 (別冊について教科書として扱われていない。)	2-(12)
2	13	1 - 26	レポート「方程式の形と解の個数」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (2次方程式を超える学習)	2-(17)
3	50	2	分数の形 他に、71ページ側注の吹き出しの「分数の形」	不正確である。	3-(1)
4	71	右上	発展	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)
5	96	側注	(3)の「 $x=2$ のとき $x=4$ 」	誤りである。	3-(1)
6	123	表	7行下のA社の表における「 ~ 10 」及び「 ~ 20 」 他に、8行下のB社の表における「 ~ 7 」, 「 ~ 12 」及び「 ~ 20 」	生徒にとって理解し難い表である。 (「 \sim 」の意味が分からない。)	3-(3)
7	124	写真	右上の写真の説明における「何か所先まで乗車しても... , x か所先まで乗車したときの... y 円」	生徒にとって理解し難い表現である。 (何が何か所なのかが分からない。)	3-(3)
8	127	右上	発展	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)
9	130	11 - 13	Qにおいて、たとえば、次のことが成り立つ。EF=2AB, ... H= D	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (頂点がどのように対応しているか分からず辺や角の対応が理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
10	150	吹き出し	15行右の吹き出し「仮定の比を図に示してみたよ。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのように比を図に示しているのかが分からない。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 2 枚目

受理番号 31-59		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	156	7 - 8	三角形の頂角の二等分線は、底辺を2つの線分に分ける。	生徒にとって理解し難い表現である。 (頂角と底辺がどこを指すのか分からない。)	3-(3)				
12	166 - 167		三角形の重心と内心	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				
13	167	右上	発展	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)				
14	186	図	問題2.の図	生徒にとって理解し難い図である。 (点Cが2つある。)	3-(3)				
15	187	右上	発展	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)				
16	187 - 189		円に関するいろいろな性質	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				
17	220	21 - 24	問2	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どのように抽出するのか分からず解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
18	227	5 - 11	例1の問題 他に、21-25行問1、231ページ6-10行 問題2、282ページ9-14行問題2	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どのように抽出されたのか分からず解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
19	230	吹き出し	右のみかさんの吹き出し「じゃあ、学年ごとのかたよりがないように標本の大きさを考えるとよさそうだね。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (標本の大きさを考えることが学年ごとのかたよりの解消にどうつながるのか分からない。)	3-(3)				
20	237	4 - 11	見た目上の太陽と月の大きさが同じであるとき、...比が同じであることがわかります。 及び6行下の図	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (2円の共通接線の学習)	2-(17)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 3 枚目

受理番号 31-59		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
21	242	23	Aさんは95%以上の確率で当選しています。	生徒にとって理解し難い表現である。 (何を意味しているのか分からない。)	3-(3)				
22	264	1	発展	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)				
23	264	2	例題3の上の発展マーク 他に、22行問題12の上の発展マーク、 265ページ1行例題4の上の発展マーク 、21行問題13の上の発展マーク	生徒にとって理解し難い表現である。 (発展内の発展が何を意味するのか分からない。)	3-(3)				
24	279	2	発展	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)				
25	279	2 - 27	発展 直角三角形と円の接線	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				
26	279	3	例題1の上の発展マーク 他に、23行問題11の上の発展マーク	生徒にとって理解し難い表現である。 (発展内の発展が何を意味するのか分からない。)	3-(3)				
27	290	14 左	「二等辺三角形の性質」の囲みの 「(定義) 2辺が等しい。」 他に、右の「平行四辺形の性質」の囲 みの「(定義) 2組の対辺はそれぞれ平 行である。」	不正確である。 (定義として不正確である。)	3-(1)				
28	296	5 左	「3 次方程式」の「1 確認問題」の (6)の解答	誤りである。	3-(1)				
29	299	5 左	「1年の復習」の1(8)の解答	誤りである。	3-(1)				
30	301	17 右	「第3章 2次方程式」の6(9)の解答	不正確である。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 4 枚目

受理番号 31-59		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
31	301	23 - 25 右	「第3章 2次方程式」の11,12,13の解答	誤りである。	3-(1)				
32	下巻 8 - 11		平方根の値の増え方	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				
33	9	右上	発展	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)				
34	14 - 15		探究 課題 及び 44-45ページ ワークシート	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (原点を中心とする相似変換の学習)	2-(17)				
35	41	図	右の上から3番目のハート形の図	生徒にとって理解し難い図である。 (何の図が理解し難い。)	3-(3)				
36	42 - 43		ワークシート 平方根の値の増え方	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (無理関数の学習)	2-(17)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 31-60		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 1	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	56	12	最大公倍数，最小公約数	誤りである。	3-(1)				
2	136	7 - 8	問1(1) 他に，137ページ5-6行 問2(1)，148ページ7-8行 問1(1)	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (表が完成しておらず対応するx,yの値の組を座標とする点をとることができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
3	158	12	その高さの下限について考えましょう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (下限の説明がなく分からない。)	3-(3)				
4	164	3	麻のルビ「あ」	誤りである。	3-(1)				
5	183	11	発展/高校数学	不正確である。	3-(1)				
6	229	17	その階級の度数は2回です。	不正確である。 (どの度数が分からない。)	3-(1)				
7	243	6	各階級の上限の値	生徒にとって理解し難い表現である。 (上限の説明がなく分からない。)	3-(3)				
8	268		数学研究室 発展/高校数学 多面体の面，頂点，辺の数の関係	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				
9	268	1	発展/高校数学	不正確である。	3-(1)				
10	280	側注	14行側注「p.80 例2」	生徒にとって理解し難いページである。 (80ページに例2はない。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 31-60	学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 1
------------	--------	-------	-------	------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	292	22 左	「 章 平面図形」の「次の章を学ぶ前に(p.163)」の 3の解答	相互に矛盾している。 (163ページの問題の図の黒い線の位置。)	3-(1)
12	294	11 右	「多面体の面，頂点，辺の数の関係(p.268)」の 3の解答の「(面の数)+(頂点の数)-(辺の数)」	生徒にとって理解し難い解答である。	3-(3)
13	296	24 左	「 章 方程式 (p.281)」の「15(2) $x=-3$ 」	誤りである。 (「(2)」)	3-(1)
14	裏表紙	1 - 2	4つの合同な正三角形の面で囲まれた立体を真上から見ると，3つの合同な二等辺三角形をしきつめた形に見えます。	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 31-61		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 2	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	145	15	(2)	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「(1)のことがら」が何を指しているのか分からず解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
2	195	図	右下の図3	不正確である。 (9月の最小値)	3-(1)				
3	196	1	1行の上「解答例 p.223」	不正確である。 (ページ数)	3-(1)				
4	203	囲み	下の囲みの右下にある 「左側の は、」	誤りである。	3-(1)				
5	219	側注	10行側注「p.141 問3」	生徒にとって理解し難いページである。 (141ページに問3はない。)	3-(3)				
6	220	側注	1行側注「p.147 問5」	生徒にとって理解し難いページである。 (147ページの問題5との関連性が分からない。)	3-(3)				
7	220	側注	3行側注「p.150 問4」	生徒にとって理解し難いページである。 (150ページには問4はない。)	3-(3)				
8	232	8 左	「章 データの分布と確率」の「次の章を学ぶ前に(p.161)」の 1(2)の解答	不正確である。 (単位がない。)	3-(1)				
9	232	12 左	「6章の問題(p.188)」の の解答	不正確である。 (単位がない。)	3-(1)				
10	232	2 右	「とりくんでみよう(p.189)」の (1)の解答にある「求める確率は $6/36=1/6$ 」	誤りである。 (求める確率ではない。)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 31-62		学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	12	22	「 $(a+b)c=ac+bc$ 」に付いている矢印	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
2	42	24 - 25	一般に、 $x^2=a$ となる正の数 x を、 x と表します。	誤りである。 (「 x 」)	3-(1)
3	71	表	右上の表の x が1のときの右の欄「 $1^2-10 \times 1+24=24$ 」	誤りである。	3-(1)
4	74 - 75		3 平方根の考え方を使った解き方	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容A(3)のア(イ)の「平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと」に照らして、扱いが不適切である。)	2-(1)
5	115	吹き出し	右下の彩さんの吹き出し及び吹き出し上の「発展/高校数学」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)
6	120	19 - 20	一般に、 $y=a^x$ という式で表される関数を指数関数といいます。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (a や x に入れる数によってはどのような値になるのか分からず理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
7	169	13	発展/高校数学	不正確である。	3-(1)
8	175	側注	4行側注「確かめ p.60~61」	生徒にとって理解し難いページである。 (60-61ページの「5 平方根の活用」と問題 2との関連が分からない。)	3-(3)
9	193	写真	右上の「福岡タワー」の写真のキャプションにおける「断面」	生徒にとって理解し難い表現である。 (どの断面が分からない。)	3-(3)
10	198 - 210		8章 標本調査	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容D(1)のイ(イ)の「簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断すること。」に照らして、扱いが不適切である。)	2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 31-62		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	198	吹き出し	真央さんの吹き出しの「全体の1%」 他に、中央の「わが国の年齢別人口」 の表の「全体の1%」、下の彩さんの吹 き出しの「1%」	不正確である。	3-(1)	
12	216	グラフ	右下囲みのグラフ	生徒にとって理解し難いグラフである。	3-(3)	
13	235	側注	23行側注「(1)~(3) p.53 例3」	生徒にとって理解し難いページである。 (53ページに例3はない。)	3-(3)	
14	236	側注	8行側注「(4)~(6) p.57 問2 (7)(8) p.57 問3」	生徒にとって理解し難いページである。 (57ページの問との関連性が分からない。)	3-(3)	
15	237	側注	5行側注「(1)(2) p.76 例1」	生徒にとって理解し難いページである。 (76ページに例1はない。)	3-(3)	
16	265	2 左	「章 平方根」の「次の章を学ぶ前 に (p.39)」の 2(3)の解答	誤りである。	3-(1)	
17	273	28 右	章 平方根 (p.236) 他に、274ページ左9行「章 2次方程 式 (p.237)」, 左30行「章 関数 $y=ax^2$ (p.238)」, 右5行「章 相似 な図形 (p.239)」, 右11行「章 円	不正確である。	3-(1)	
			(p.240)」, 右20行「章 三平方の定 理 (p.241)」			
18	274	18 左	「章 2次方程式 (p.237)」の19(2) の解答	誤りである。	3-(1)	
19	274	25 右	「章 三平方の定理 (p.241)」の33 (4)の解答	誤りである。 (問33に(4)はない。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 31-62	学校 中学校	教科 数学	種目 数学	学年 3
------------	--------	-------	-------	------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
20	274	26 右	「 章 三平方の定理 (p.241)」の34 (2)の解答	誤りである。	3-(1)
21	274	27 右	「 章 三平方の定理 (p.241)」の34 (3)の解答	誤りである。 (問34に(3)はない。)	3-(1)
22	279	7 左	incrimed	脱字である。	3-(2)
23	279	10 左	近似値 solution	誤りである。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。